

2021/06/30

デザイン・ガイドラインの調査結果についてのフィードバック

お疲れ様です。現代のデザイン・ガイドラインの調査ですが、Apple 社の『Human Interface Guidelines (iOS ヒューマンインターフェイスガイドライン)』のほうはほぼ完璧だと思いました。図も挿入されていてすんなりと理解に持っていくことができました。

これを踏まえて、Google 社の『Material Design』をよく調べてほしいです。作成する上の注意点に関してはGitHubにあるので参照してください。

これらの調査したことは、最終的に資料として評価されます。

3. 現代のデザインガイドラインの調査

調査時点(2017年7月)で、UIにおける大きなデザインガイドラインにはGoogleのMaterial DesignとAppleのHuman Interface Guidelinesの2つが存在している。特にGoogleのMaterial Designでは、UIのデザインにおける要素の動き、画面上の色、余白、文言などのガイドラインが細かく設定されており、ガイドラインを使うことで理論的にデザインを組み立てることを可能としている。このような点から本調査ではGoogleのMaterial Designに焦点を絞って行った。これよりガイドラインの一部を紹介する。

最終発表時には、上記のように行う予定です。が、マテリアルデザインとヒューマンインターフェイスはしっかりと書いてほしいです。「こういった調査結果から、今回はこのデザイン・ガイドラインを選択しました」と根拠づけるため、しっかりと調査してください。

例) 概要+機能の内容+特徴: 先生方が見て、合格となるような内容

【Apple】 iOS ヒューマンインターフェイスガイドライン: UI 設計の基本事項

[<https://developer.apple.com/design/human-interface-guidelines/ios/overview/themes/>]

【Google】 マテリアル - Material Design

[<https://material.io/design>]

あと、実際に改善案ポータルサイトに採用するのは、Google のマテリアルデザインの方の予定です。(UI デザインのデザインガイドラインの研究.pdf 参照)

2) 役割分担のための階層構造

Material Design では紙の重なりによって画面が構成されている。その重なりにもルールが存在し、それぞれの役割によって階層が定められている。

3) 意味のあるアニメーション

Material Design ではアニメーションに物理的な加減速を用いており、自然で心地よい動きを表現している。また、アニメーション自体にも意味づけをし、前後の繋がりや関係性を表現することを重視している。

その後、できれば『” 上記のこと ” なので、〇〇といった機能を改善案のポータルサイトに実装予定です。』といったように書いてほしいです。そのやり方は、現ポータルサイトで、マテリアルデザインのデザイン・ガイドラインのうち、採用できそうな箇所をピックアップして実装する予定です。全部の UI デザインを採用するとなると、めっちゃ時間がかかるので、数か所のみ限定、その限定する箇所は考えて欲しいです。。。

例) マテリアルデザインでは、紙の重なりによって画面が構成されている。その重なりにもルールが存在し、それぞれの役割によって階層が定められている。このことから、改善案では、〇〇の機能の箇所にこのデザインを採用しました。こうすることにより、ユーザは〇〇の恩恵を得ることができます。

ざっと書いてみましたが、抜けているところもあると思います。その部分は改めて追記します。